

幼 兒 の 教 育

昭 和 九 年 四 月

この萌芽に對して

新しい萌芽を見ることは楽しい。また、その伸びてゆく力を思ふことは嬉しい。しかし、その柔かき弱さを前にして怖ろしさなしにはゐられない。識らずして踏みじりはないか、誤つて手折りはしないか、壓へて歪めはしないか、氣づかふては胸のおのゝくを禁じ得ない。

自發さや、生長さや、自然の力さや、それはむかふのこころである。こちらとして、は、はらくミする怖ろしさのみが残る。むかふの力に任せて、こちらの心づかひを忘れるのは、鈍感か、怠慢か、粗野か、横暴かに外ならない。

可憐なる幼児達に見るこの萌芽に對して、恐れ戦く心、そのこまやかさに幼児教育者の良心がある。